

平成16年1月6日

各科各位

輸 血 部  
部長 坂本 久浩

## 輸血部からお知らせ

### 1. 時間外の検査技師による輸血検査の開始について

時間外輸血検査開始日	<b>2004年1月13日(火)(17:15 ~ )</b> (平日: 17:15 ~ 8:30 土日祝祭日: 24時間)															
検査体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の中央検査部時間外緊急検査に、輸血検査項目を追加</li> <li>・平日夜間1名体制</li> </ul> (時間外業務が過剰になる恐れがあるため、 <b>既入院患者の輸血は出来る限り時間内</b> にお願いします。)															
業務範囲	<b>赤血球製剤使用時の血液型検査・交差適合試験</b> <b>血小板製剤/新鮮凍結血漿使用時、当院での血液型検査歴がない患者の血液型検査</b> 血小板製剤・新鮮凍結血漿の時間外輸血手続きは現行通り医師が行う <b>血液製剤の運搬は医師または看護師</b>															
検査検体	原則として、上記 <b>は</b> 毎回検体 (EDTA-2Na 7ml : 薄紫) の提出が必要。 上記 (既に提出済み<5日以内>の検体は、使用可)															
検査レベル	半自動機器の使用により、検査の安全性を一定レベル確保 (不規則抗体検査は実施しない。時間内検査と比べ検査感度は若干劣る)															
ABO血液型検査の医師と技師のダブルチェック	血液型検査歴がない患者は、外来・入院にかかわらず、輸血オーダー時に <b>医師のスライド法によるABO血液型判定が必要</b> (病棟あるいは検査部で実施)															
検査所要時間	<b>約1時間</b> (一連の血液型検査と交差適合試験、輸血用赤血球製剤準備)															
緊急輸血の対応 (1時間待てない場合)	<b>下記に従って、交差試験を実施せず、放射線照射赤血球 MAP を用意。</b>															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">当院輸血部での血液型検査歴</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>あり</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">交差適合試験用検体の提出 (血液型再確認検査)</td> <td>あり(出来る)</td> <td>同型Rh(+)</td> <td rowspan="2">O型Rh(+)</td> </tr> <tr> <td>なし(出来ない)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				当院輸血部での血液型検査歴				あり	なし	交差適合試験用検体の提出 (血液型再確認検査)	あり(出来る)	同型Rh(+)	O型Rh(+)	なし(出来ない)
		当院輸血部での血液型検査歴														
		あり	なし													
交差適合試験用検体の提出 (血液型再確認検査)	あり(出来る)	同型Rh(+)	O型Rh(+)													
	なし(出来ない)															
定時手術中の追加 ・T & S症例	検体の提出は不要。必要時に当直技師に電話で依頼。 検査終了まで約1時間を要す。 緊急の場合は、交差適合試験未実施で同型Rh(+)照射赤血球MAPを準備する <b>血液製剤は中央検査部受付での引き渡しとなる。</b>															

## 2) 輸血患者の再入院時、交差適合試験提出検体でのカルテ用血液型シール発行について

現 状	カルテ用血液型シールは、血液型検査依頼時に報告書と一緒に発行しています。しかし、再入院時に血液型検査の依頼のない場合は血液型シールが発行されません。このため輸血部では、既に血液型検査と交差適合試験の検体が別々に2度提出され血液型が確定している患者の再入院については、交差適合試験の検体提出時、以前の古い血液型検査結果報告書を再出力して血液型シールを添付して再発行しています。
問題点	交差適合性試験の検体は、血液型検査の依頼ではないためクロスマッチ検体提出日の結果として報告出来ない。
対 策	最新の検査結果を報告出来るよう交差適合性試験の検体にて輸血前セット検査の依頼を輸血部に行いますのでご了承下さい。
実施日	平成16年1月13日（火）

## 3) 時間外病棟からの血小板製剤発注方法の変更について

現 状	時間外に血小板製剤等の発注をした際、医師が防災センターに直接、時間外血液請求連絡票を持参している。
対 策	防災センターにFAXを設置
運 用	血液センターに電話で注文をする。(TEL:631-1279) 防災センターにTELする(内線3118) 防災センターにFAXする(内線8181)
実施日	平成16年1月13日（火） 輸血の多い診療科に時間外血液請求連絡票を配布します。

## 4) 病棟の血液払い出し時間について（再）

メッセージーとの取り決めにより、特別な指示のない限り、以下の時刻に定時搬送を行っているので、再度周知徹底をお願いしたい。(平成14年7月22日輸血部お知らせ)

なお、大量出血等緊急の場合は、輸血部職員が緊急搬送を行います。

### メッセージー定時搬送時刻

